



とびっくす No.67

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <http://www2.pref.shimane.jp/suigi/>)

元気に育て！アカアマダイ稚魚！

～ 出雲市小伊津沖で試験放流を実施 ～

島根県水産技術センター浅海科（浅海グループから改称）では県栽培漁業基本計画に基づいて平成 18 年度からアカアマダイの種苗生産技術開発に取り組んでいます。昨年度の試験では、仔魚前期の大量死や形態異常等の問題をクリア、約 3cm の稚魚約 3 万尾の種苗を生産することができました（図 1、詳しくは水産技術センター広報誌「とびっくす (64 号)」を参照してください）。できた種苗のうち約半分を松江市と出雲市に配布した後、残りの稚魚を中間育成していましたが、この度平均 7cm にまで成長した稚魚約 1 万尾を 4 月 18 日にアマダイの本場、京都市市場などでも高い評価を得ている「小伊津のアマダイ」の産地、出雲市小伊津地先で放流しました。



写真 1 たくさん育った！アカアマダイ稚魚

放流の概要

放流したアカアマダイは平成 24 年 10 月に浅海庁舎で採卵、昨年 10 月～4 月までの約 6 ヶ月間陸上水槽で飼育したものです。

放流したアカアマダイ種苗には鰭カット標識（右側の胸鰭を写真 2 のように切除）を施しました。

なお昨年、一昨年に放流した魚にはイラストマー標識（写真 3）を施していましたが、今年度は漁業者や漁業協同組合、また一般の皆さまがより放流魚を発見しやすいよう、これまで鰭カット放流を継続して行ってきた出雲市と、今年度から放流の取り組みを開始した松江市との共同試験として本標識を採用することにしました。なお全体の放流尾数は水産技術センター浅海庁舎が約 1 万尾、出雲市が約 6 千尾、松江市が約 9 千尾、合計がおよそ 2 万 5 千尾になる予定です。



図 1 水産技術センターにおける稚魚生産尾数

稚魚は 500 リットルのタンクに積み込み、3 回に分けて水産技術センターの調査船「やそしま」で放流地点である出雲市小伊津沖まで輸送しました。

放流地点に到着後、水を張った水槽中に入れた放流かごにアカアマダイを移し、何回かに分けて水深 40m くらいまでゆっくり降ろしたのち（水深は 80m）、かごのふたを解放し放流しました。



写真2 鰭カット標識を施した稚魚

皆さまへのお願い

水産技術センターでは右下のようなパンフレットを作成し、再捕報告のお願いをしております。「鰭カット」や「イラストマー標識」などの標識が施されたアカアマダイを漁獲された際は、水産技術センター（内水面浅海部浅海科）、もしくは出雲市水産振興課まで一報いただければ幸いです。

皆さまからの報告により放流魚がどのくらい成長したり、移動したりするかなど、生態や放流効果を推定するのに必要な知見を得ることができ、今後の調査研究に役立てることが出来ます。どうかよろしくお願いたします。

なお、明日（5月8日）は当水技センターで種苗生産され、松江市鹿島・島根栽培漁業振興センターで中間育成されたアカアマダイが恵曇沖で放流される予定です。



鰭カット標識付け作業

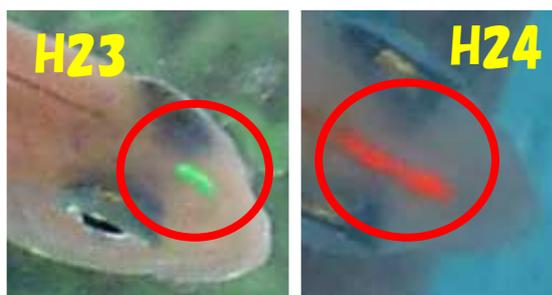


写真3 これまで用いていた標識（イラストマー標識）

アカアマダイを放流しました

右側の鰭を
カットしています
(今年はお出雲市、松
江市と同じ標識に
しました！)

放流年月日 平成25年 4月18日
放流場所 島根県出雲市小伊津沖 水深 80m
放流尾数 10,100 尾(3回に分けて実施)
サイズ 全長 7 センチ
標識 右鰭カット標識(上の写真)
 (同じ標識の松江市、出雲市と合わせた県全体の放流尾数は約 25,000 尾です)

お願い！！
 鰭カットされた(または標識の付いた)アカアマダイを再捕されましたら、次のことをお知らせ下さい。

- ① 再捕年月日
- ② 再捕場所
- ③ 大きさ

H23
H24

連絡先 島根県水産技術センター
 (担当: 清川) TEL 0852-82-0073
 FAX 0852-82-2079

再捕報告依頼のパンフレット

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1
 TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079
 ホームページ: <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>
 E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp